

くじらぐも ①

P4~16

なまえ

ねん

くみ

ばん

がつ

てん

M1 ②-1-25

1 に あうほうの 字をかきましよう。

各 15 90

たいそ うをはじめる。

のびたりち ぢんだりを

せんせ いが、あい ずをする。

くじらぐも は、むらの ほう すすむ。

2 はなした ことばに、「」をつけましよう。

⑩

せんせいが、
「まわれ、みぎ。」
とごうれいをかけると、
くじらも まわれみぎをする。



くじらぐも ②

P4~16

なまえ

ねん

くみ

ばん

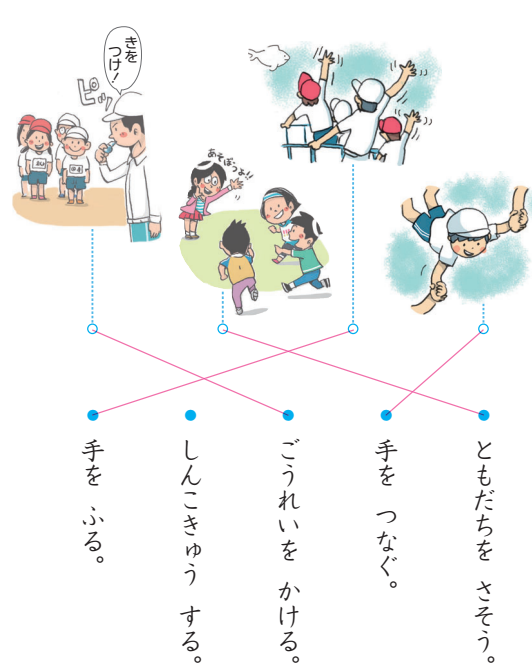
がつ

てん

M1 ②-2-26

1 えに あう 文を、で つなぎましよう。

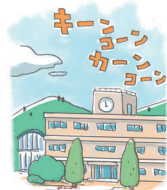
各 15 90



2 かたかなで かきましよう。

各 20 40

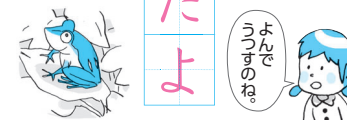
じやんぷ する。
ちやいむ なる。

みんなであそぼう
なのつことば

なまえ



なんでも
なげやり
ながあめ
ながなし
ないしょ
だよ

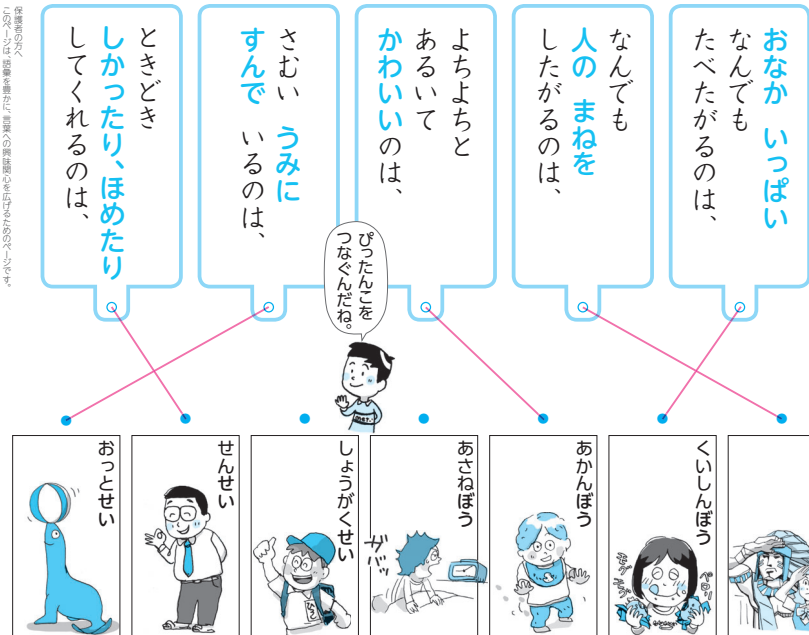


なんでも
なげやり
ないしょ
だよ
ながあめ
ながなし
ながあめ
ながなし

M1 ②-2-25

みんなであそぼう
びったんごはどれ？

なまえ



M1 ②-2-26

1 のよみがなをかきましょう。

さんがつ みつか

三月三日はひなまつり。

ごがつ いつか

五月五日は子どもの日。

ろくがつ むいか

六月六日はうんどうかい。

じゅうがつ とおか

十月十日はおまつり。

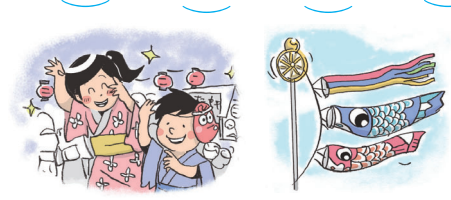
2 かん字をかきましょう。

七 じにおきる。

一 じはひる休み。

三 じのおやつ。

九 じにねます。



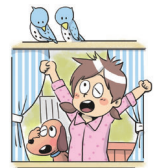
1 かたかなで かきましょう。

カード にかく。

バスケット

2 つづくことを、でつなぎましょう。

としを する。
わるさを やます。
目を あげる。
とる。



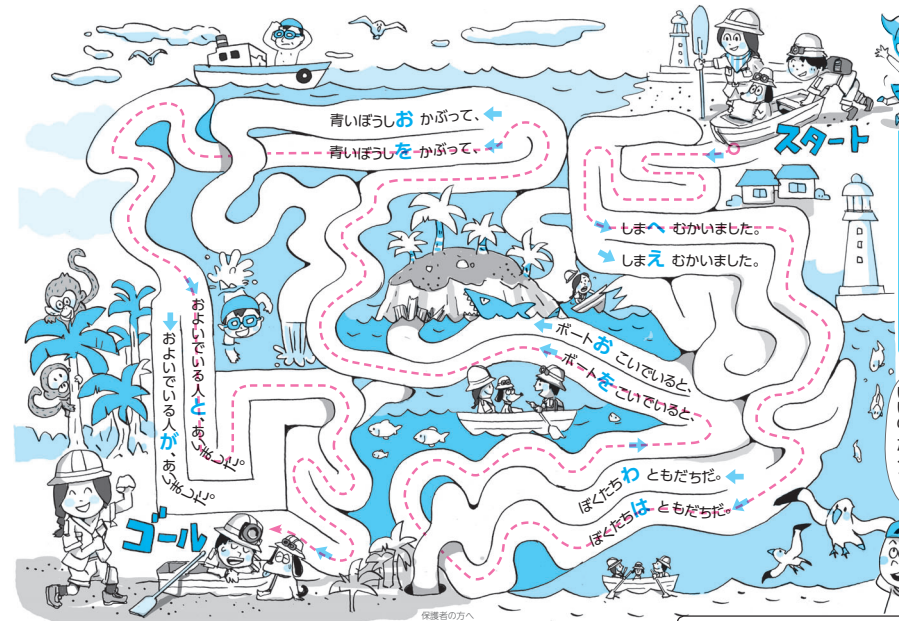
3 をかん字にして、文ぜんぶをかきましょう。

あさはやくおきる。

あさ早くおきる。

かいだんをのぼる。

かいだんをのぼる。



なまえ



へのかっぱ

へいきさ

そんなの

へそまがり

へんてこ

へりくつ



よんで うろのね。



へのかっぱ

へいきさ

そんなの

へそまがり

へんてこ

へりくつ

ずつとずつと、
大すきだよ ②

P 52~63

なまえ

ねん

くみ

ばん

がつ

てん

M I ②-11-35

1 やくすの正しいいみに○をつけましょう。

() がいくのおはなしをつくる。

(○) がいくのおはなしをにほんごになおす。

2 あうーごばを から えらんで かきましよう。

犬を () ずつと まえから かつている。

もう () まもなく しゅっぱつです。

そとは、 () いっしか くらくなっていた。

いっしか ずつと あるとき まもなく

3 つづくことばを、 で つなぎましよう。

たがいに かたを きに しない。

しかられた ことを だきあう。

おとうこの せが らくなる。

ふと、きもちが たのしむ。



各 10 40

もののなまえ

P 66~71

なまえ

ねん

くみ

ばん

がつ

てん

M I ②-12-36

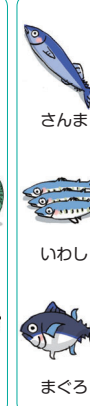
1 まとめて つけた なまえを かきましよう。



() とり



() どり



() さかな



() くだもの

2 つづくことばを から えらんで かきましよう。

ぼくの なまえは、 よしお です。

さかなやさんで かいものを します。

さかなやさんには、 わかめも あります。

たくさんの おきやくさんが います。

なります です います あります します

みんなであそぶ

みのつことば

なまえ



ぼくは、
ねこが、
すきだよ。

みけねこさん
みずたまり
みちばたで
みつけて
みずあそび
みづくろい

みけねこさん
みずたまり
みちばたで
みつけて
みずあそび
みづくろい

M I ②-35

みんなであそぶ

びったんごはどれ？

なまえ

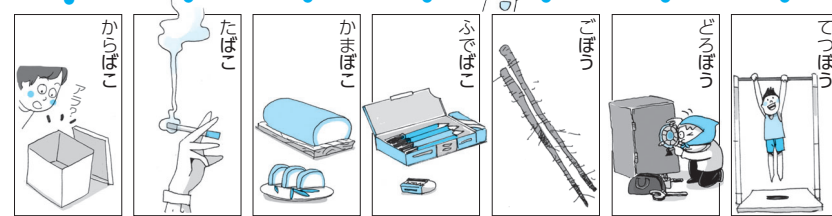
人のいない
ときにこそ
やってくるんだよ。

これで
まわったり
ぶらさ
がったりするよ。

いたにのつて
いる
たべもの。うどんに、
はいつて
いるよ。

なかみを
だして
しまつと、
こうなるよ。

「おとうさん、
やめてと、いわれて
いるのは？」



M I ②-36

かたかなのかたち

P 72~73

なまえ

ねん

くみ

ばん

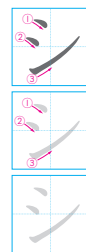
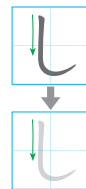
がつ

てん

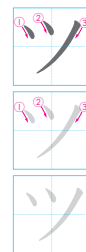
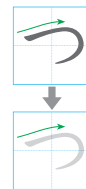
M I 2-13-37

1 かきじゅん どおりに なぞりましょう。

各 20 40



シとツは
かきじゅんが
ちがうのね。



2 なぎこえを かたかなで かきましよう。

各 15 30

ケロケロ



けろけろ

ニヤーゴ



にやあこ

3 かたかなで かきましよう。

各 15 30

シヤツ



さつ かあ



サツカー

たぬきの糸車 ①

P 76~87

なまえ

ねん

くみ

ばん

がつ

てん

M I 2-14-38

1 つづくことばを、で つなぎましよう。

各 10 40

ふと だいじなことに

うすぐらい へやの中を

きこりが わなを

じょうずに 糸を

のぞく。

下りる。

気がつく。

つむぐ。

しかける。



2 をしたのは、だれですか。

各 15 60

おとうとは、とんぼを つかまえた。

おとうと

ぼくたちは、こいのぼりをつくった。

ぼくたち

どんぐりを ひろったのは いもうとだ。

いもうと

いもうとに ぼくは、かさを わたした。

ぼく



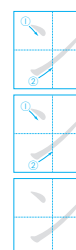
にたかたかな

なまえ

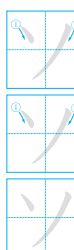


なぞるんだ。

ん



そ



ンモンも
かたは
そくりだけ
ちがうのね。
かきじゅんだね。



えを
かたかなに
するんだね。

マラソン

まらそん



シーツ

しいつ



テント

てんと



トンネル

とんねる



M I 2-37



なにかへんだぞ！

なまえ

はなび

はなび



きつぷ

きつぷ



バケシ

バケツ



マラソン

マラソン



しやくたい

しやくたい



M I 2-38



やのつくことば

なまえ

1 つづくことばを、で つなぎましょう。

各 10 40

■ 山に、きこりの ふうふが すんで

■ たぬきが 山から きて、いたずらを

■ やがて、さむい ふゆが やって

■ しょうじに たぬきの かげが

2 あう ことばを から えらんで かきましょう。

各 15 60

かげから、たぬきの しつぽが

ちらり

と 見えました。

おかみさんは おもわず

ふき出しそうに なりました。

ちかくで、 キャート

という さけびごえが しました。

ともだちに、 ふいに

かたを たたかれました。

ふいに きつと おもわず ちらり キャート



1 あう ことばを、で かこみましょう。

各 10 40

■ 雨が ふっているけれど、

やがて

はれるだろう。

■ ひる休みは、

すこし たった

十五ふん しかない。

■ ひる休みは、

もう おわって

しまった。

■ おとうとは、本を

あまり すこし

よまない。



2 とにた ことばを、から えらんで かきましょう。

各 15 60

■ 車でよその 町へ いく。

ほかの

■ 生まれたばかりの 赤ちゃんだ。

すぐの

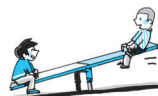
■ 生まれてから 一年が たった。

すぎた

■ やがて、ゆきの きせつだ。

もうすぐ

■ すぎた もうすぐ ほかの まだ すぐの



ツーン

シーソー



トラシク

トラツク



ベンテ

ベンチ



あさねぼう

あさねぼう



どんぐり

どんぐり



なにかへんだぞ

なまえ



やのつくことば

なまえ

1 つづくことばを、で つなぎましょう。

各 10 40

■ 山に、きこりの ふうふが すんで

■ たぬきが 山から きて、いたずらを

■ やがて、さむい ふゆが やって

■ しょうじに たぬきの かげが

2 あう ことばを から えらんで かきましょう。

各 15 60

かげから、たぬきの しつぽが

ちらり

と 見えました。

おかみさんは おもわず

ふき出しそうに なりました。

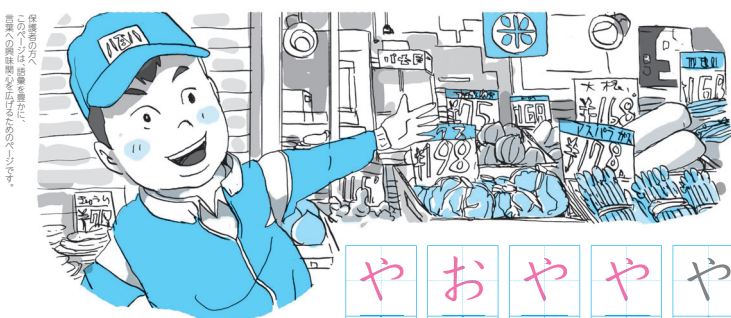
ちかくで、 キャート

という さけびごえが しました。

ともだちに、 ふいに

かたを たたかれました。

ふいに きつと おもわず ちらり キャート



よんで うつすね。



やっぱり

やおの

やくめはね

やすくて

おいしい

やさいうり

やっぱり

やおの

やくめはね

やすくて

おいしい

やさいうり

にているかん字

PI02~103

なまえ
ねん
くみ
ばん
がつ
てん

1 かきじゅんの正しいほうに、○をつけましょう。 各10/20

左

(○) 一ナ ㄹ 左 左

() ノナ ㄹ 左 左

右

() 一ナ ㄹ 右 右

(○) ノナ ㄹ 右 右

2 かたちがにたかん字をかきましよう。 各10/80

大 おお きな 犬 いぬ

貝 かい がらを 見 み つける。



木 き のかげで 本 ほん をよむ。



たくさんの 人 ひと と、プールに 入 はい る。

日づけとよう日

ふくしゅう

なまえ
ねん
くみ
ばん
がつ
てん

1 ふたりのたんじよう日をかかん字で かきましよう。 各20/40

ぼくは、五月 よつ 四 日 か うまれです。

あねは、六月 よう 八 日 か うまれです。



2 のよみがなをかきましよう。 各15/80

いちがつ ついたち

二月二日 あすはせつぶんだ。 にがつ 二つ か

七月七日 はたなばただ。 しちがつ なのか

九月九日 はえんそくだ。 くがつ このか



みんなであそぼう

なかまのかん字

なまえ

なかまじやないかん字を見けるのね。

三 五 土 七 土

一 十 白 千 白

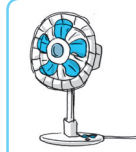
上 人 中 人 下

木 林 本 森 本

みんなであそぼう

なにかへんだぞ!

なまえ



せんふうき



れいそうこ



ともたち



ガラス



そうじき

だってだっての
おばあさん ①

P104-123

なまえ

ねん

くみ

ばん

がつ

てん

M1 2-19-43

1 つづくことばを、●でつなぎましょう。

各10 40

川のそばに 小さなうちが いました。

一ぴきのねこが、すんで でした。

おばあさんは、九十八さい ありました。

おばあさんは、おひるねを しました。



2 なんだか・なんてのどちらかを かきましよう。

各10 20

あなたって、およぎが

なんて、じょうず なんだらう。

なんだか おさかな みたい。



3 のよみがなを かきましよう。

各10 40

ケーキが 大すきです。 大いそぎで かける。

おたんじょう日 び まい日、ひるねをする。

だってだっての
おばあさん ②

P104-123

なまえ

ねん

くみ

ばん

がつ

てん

M1 2-20-44

1 つづくことばを、●でつなぎましよう。

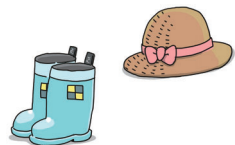
各10 40

そとでは ぼうしを かぐ。

まめのかわを はく。

花のにおいを かぶる。

青い色のながぐつを きる。



2 あうことばを、□からえらんで かきましよう。

各15 60

ねこが、おばあさんを さかなつりに さそうと、

「だって、わたしは、としよりだもの。」

と（ことわり）ました。

きょうは、おばあさんの
おたんじょう日です。

だから、おばあさんは、

ケーキを（つくり）ました。

だから だって つくり きっと ことわり



みんなであそぼう

ゆのつくことば

なまえ

お風呂は
大すきだよ。



ゆ うがたは

ゆ ぶねに

つ かつて

ゆ たりと

ゆ あがりは

ゆ かたきる

ゆうがたは

ゆぶねに

つかつて

ゆ たりと

ゆ あがりは

ゆ かたきる

お風呂に入ると、お風呂の音がする。お風呂の音がする。お風呂の音がする。

M1 2-43

みんなであそぼう

なにかへんだぞ！

なまえ

かん字の
まちがいを
なおして、
正しい文を
かくのね。



本の下で 木をよむ。

木の下で 本をよむ。

しんごうを よく目る。

しんごうを

よく見る。

うみで 目をひろう。

うみで

貝をひろう。

大が 犬きくなる。

犬が

大きくなる。

お風呂に入ると、お風呂の音がする。お風呂の音がする。お風呂の音がする。

M1 2-44

1 えにあう文にします。、を一つつけましょう。



ぼくはえがすきです。



わたしはねます。



これはたけです。

2 おかあさんのことを、○でかこみましょう。

いえにかえるとおかあさんが、

きょうはどうだった。

と、わたしにききました。

きょう、マラソン大かいがあったからです。



3 の正しい かきかたに ○をつけましょう。

() おとうとが、「いたいよ。」と なきました。

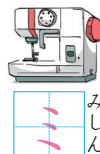
(○) おとうとが、「いたいよ。」と なきました。

() おとうとが「いたいよ。」と なきました。



1 えの名まえを かたかなで かきましょう。

じいばん
ジーンパン



みしん

ミシン

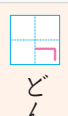


そふあ

ソファ

2 、。』を正しく かきましょう。

かえりみち もえちゃん



どんぐりを ひろいに いこうよ



と、わたしを こうえんに さそいました



3 えを見て、』をつかった文を □に かきましょう。

出かけるとき、おかあさんが、

「かさはいるかしら。」

といったので、わたしは、

「だいじょうぶよ。」

と いいました。



きんぐま ことば



おとうさん(は)
ひげを そる。



おとうさん(の)
手つだいを する。



おとうさん(に)
手つだって もらう。



おとうさん(と)
さんぽする。

は と の へ に



は と の へ に
のどれかを
えらんで、
かくのね。



きんぐま ことば



おはけは
大きい。

ようかい

よるのもり

よふかし

よどおし

よまつりさ

ようかい

よるのもり

よどおし

よまつりさ

さく文を ことばの かたまりで うつしましょう。

あける き よ う の 五 じ か ん 目 の ベ
 パ チ パ チ と ふ っ て き ま し た 。
 み ん な 大 よ ろ こ び で し た 。
 あける さ む く て も 、 ク リ ス マ ス
 や お 正 月 が ち か く な る か ら
 い い な 、 と お も い ま し た 。

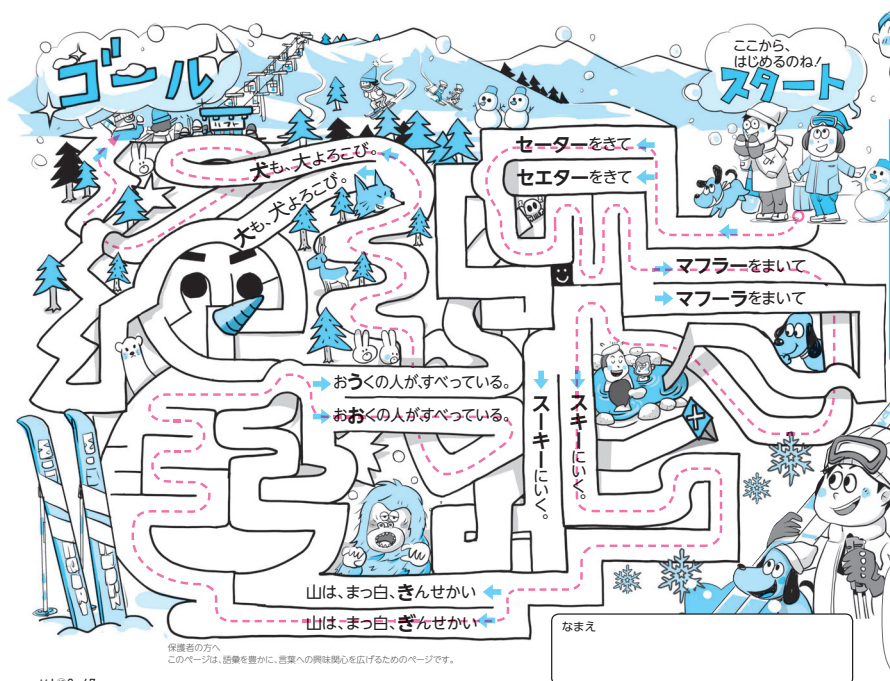
き よ う の 五 じ か ん 目 の ベ
 ん き よ う の と き 、 あ ら れ が
 パ チ パ チ と ふ っ て き ま し た 。
 み ん な 大 よ ろ こ び で し た 。
 さ む く て も 、 ク リ ス マ ス
 や お 正 月 が ち か く な る か ら
 い い な 、 と お も い ま し た 。



「 」 に 気 を つ け て 、 さ く 文 を う つ し ま し ょ う 。

あける き よ う の 五 じ か ん 目 の ベ
 を そ う じ し ま し た 。
 あける お か あ さ ん が 、
 「 す っ き り し た ね 。」
 と い い ま し た 。
 あける ま え よ り じ ぶ ん の へ や
 が 、 す き に な り ま し た 。

き よ う 、 じ ぶ ん の へ や
 を そ う じ し ま し た 。
 お か あ さ ん が 、
 「 す っ き り し た ね 。」
 と い い ま し た 。
 ま え よ り じ ぶ ん の へ や
 が 、 す き に な り ま し た 。



わ い わ い
 わ ら っ て
 わ す れ よ う
 わ く わ く
 こ ん ど は
 に ね ん せ い

わ い わ い
 わ ら っ て
 わ す れ よ う
 わ く わ く
 こ ん ど は
 に ね ん せ い